



本日の卓話

世界チャンピオンへの道
元プロボクサー 田口 良一様司会進行
点鐘

手に手つないで

ニコニコボックス報告

会長報告

幹事報告

出席報告

渡辺 和久会員
牛島聡次年度会長
木村 良成会員
渡辺 和久会員
牛島聡次年度会長
相倉 辰徳幹事
渡辺 和久会員

幹事報告 相倉 辰徳幹事

<地区関係行事>

1. 本日、4 月度新旧合同理事役員会議事録を配布いたしました。ご確認ください。
2. 月 1 回断食基金へのご協力ありがとうございました。
<地区関係行事>4/21(金)米山奨学生カウンセラーオリエンテーションに永井会員が出席します。

誕生日祝い 4/12 松島会員



ニコニコボックス

土居会員 地区研修協議会、出席ご苦労様でした。牛島聡年度のスタート準備ですネ。

大原会員 今日は暖かいですね!

計 6,000 円 累計 736,291 円

会長報告 牛島 聡次年度会長

1. お預かりしたトルコ・シリア地震支援金は、地区総額 3,420,000 円を 3/31 付にてガバナー会へ送金いたしました。ガバナー会にて日本全体の支援金をまとめて第 2430 地区のトルコ被災地区へ送金されます。
2. 永井会員に米山奨学生カウンセラーの委嘱状が届いていますのでお渡しします。
3. 米山記念奨学会より、第 23 回米山功労クラブ感謝状が届いています。クラブの特別寄付累計額が 2300 万円に達しました。
4. 5/24 (水) 千代田 6 クラブ合同例会が帝国ホテルで開催されます。本日ご案内を配布いたしましたので多数ご参加下さい。
5. 次週、他クラブより 3 名の方が当クラブのハイブリッド例会を見学に来られます。

永井 一史カウンセラー

今週末、米山奨学生の車(ちゃん)さんに会えると思いますが、車さんの学校はお茶の水女子大学です。韓国では日本語の教師をしているそうです。皆様ご協力下さい。



青少年交換派遣学生募集のお知らせ・青少年奉仕活動の件 木村 良成青少年奉仕委員長

1. 派遣期間は 2024 年 7 月～8 月よりおよそ 1 年間。対象は中学 3 年生、高校 1・2 年生(中学生は中高一貫校の生徒)です。締切りは 6 月 2 日(金)、申請書はロータリーの Web サイトよりおとりください。
2. 青少年奉仕委員会の活動にボーイスカウトの支援があります。26 日にボーイスカウト千代田第 6 団の団委員長が来会されますので支援金の授与を致します。もう一つの支援先、千代田第 1 団は日程調整中です。決まりましたらご報告致します。

5/20(土) 河川清掃のご案内 角田 靖社会奉仕委員長

4 月 15 日は大雨で延期致しました。5 月 20 日天気が良ければ開催します。5 月 6 月と続きますが宜しくお願い致します。

出席報告

会員数	38 名	ゲスト	0 名
出席	21 名	ビジター	0 名
ZOOM	1 名	合計	22 名

今後の予定

- 5/ 3 (水) 祝日休会
5/10 (水) (於)東京ドームホテル
「親子はねやすめの報告」
NPO 法人親子はねやすめ代表理事
宮地 浩太様
5/17 (水) オンライン例会「職業奉仕について」
5/24 (水) (於)帝国ホテル
千代田 6 クラブ合同例会
「演題未定」
㈱三井住友銀行 国際金融研究所
理事長 古澤 満宏様
5/31 (水) 休会

クラブ協議会

4/14 地区研修協議会の報告

司会進行 藤本 豊次年度幹事

4月14日の地区研修協議会にご出席の皆様お疲れ様でした。本日欠席の方と時間内に終わらなかった方は後日の報告とさせていただきます。

会長・幹事部門 牛島 聡次年度会長

023-24年度地区研修協議会 会長幹事部門

次年度 RI 会長ゴードン・R・マッキナリー氏

テーマ 「世界に希望を生み出そう」

次年度 RI2580 地ガバナー区栃木一夫氏

テーマ 「ロータリアンの心に火をつけよう」

次年度東京お茶の水 RC 会長

テーマ 「魅力あるクラブにするために行動しよう」

1, 地区賦課金について 栃木一夫ガバナーエレクト

2023-24年度の一人当たりの地区賦課金（地区運営費事業費・青少年交換プログラム資金）および地区大会人頭分担金の金額は、現行年度通りにする。

次年度の賦課金は年間一人当たり 14,000 円だが、次々年度 2024-25 年度には 16,000 円に、さらに次の 2025-26 年度には 18,000 円とする。その後、特段の事情が生じない限り 2026 年度以降は年間 18,000 円とする。

「値上げの理由」

現在ガバナー事務所の事務局は 2 名体制であるが、最も経験の有る事務局が退職するため、1 名の補充では業務に支障が生じると予想されると判断し 2 名の補充とすることで、人件費が増えるため。2024-25 年度以降の値上げについてはその各年度の地区研修協議会にて承認を得るものとする。

※人件費増などで来期の事業予算案では赤字になる

2, クラブ行動計画推進について

吉田雅俊 次年度地区行動推進委員長

クラブの 5 年先、10 年先を見据えた行動計画を練るべきであり、それを実行する委員会もしくは研究グループを設置することを勧める。

3, 会員増強と DEI について

嶋村文男次年度地区拡大増強委員長

会員増強については退会防止にヒントがある。退会する会員の多くは色々な面で淋しくて退会する。

※淋しいとは ⇒ 漢字で淋しいとは「さんずい」が涙を表すように「涙が出る位に気持ちがさみしい時」

DEI 「ダイバーシティ（多様性）」 「エクイティ（公平性）」 「インクルージョン（包括性・帰属意識）」については、ロータリークラブでの DEI について理解することから始める。

※My ROTARY のなかのラーニングセンター内に DEI を学ぶコースが有る

4, 2025 年規定審議会、2023 年決議審議会について

土居岩生 次年度地区立法案検討委員長

規定審議会・決議審議会はロータリーのルールを決める重要な審議であることを認識する。

※クラブ内に立法案検討ワークグループを作るのも案かもしれない。

5, 次年度 RLI について

中島弘人次年度地区 RLI 委員長・研修サブリーダー

対象者・既に RLI の一部を受講したが卒業コースまで完了していない会員

・会長エレクト、会長ノミニー、会長ノミニーデグジネート、幹事、副幹事

・その他将来のクラブリーダー

※会長判断でクラブより 1 名以上の推薦をお願いされた。

RLI を受講するメリット

①他者の発言を聞きながら自分の意見をまとめる考え方が学べる

②ロータリーの基礎知識からリーダーとなる意識のあり方まで学べる

③他クラブの状況が分かるので自クラブへの理解が深まる

④自社での社員研修にも応用ができる研修形式が学べる

※内容が詳しく知りたい方は RLI でディールを担当している山下さんに聞いてください。

職業奉仕部門 高山 肇会員

相倉 辰徳次年度委員長の代理で参加してきました。多田バスターガバナーが職業奉仕委員会のカウンセラーとしてご挨拶とお話がありました。RI は職業奉仕を軽視している。職業奉仕はロータリーの根幹であるという考えで、活動の中心であると強い口調でお話されていました。

卓話は東京神田 RC の川手正一郎氏で、日本古来からある職業奉仕の考え方を自身の 91 年の人生経験を踏まえ、実践としてお話されました。

その後、環境保全委員会の大竹委員長が栃木ガバナー年度の職業奉仕の中心となる活動方針を報告されました。そもそもロータリーの目的の中に環境保全は入っていないため、職業奉仕の中に環境保全を入れこんで進めていく。どうして環境保全という当たり前の考え方が目的に入っていないかということ、西欧は自然を征服していくという考え方があり、自然は怖いもの、恐ろしいものという考えが根幹にある。日本は自然に恵まれていて、人間と自然は同化していくという考え方が身につけている。栃木ガバナー年度はこの日本人の自然に向き合う考え方を中心に進めていくということです。

国際奉仕部門 張 碧華会員

木村次年度委員長の代理で出席し勉強してきました。バギオ基金は日本とフィリピンの親善友好を目的とし 1981 年に発足、米山奨学生と同様に奨学金を提供しています。

世界のロータリアン 116 万人、クラブ数は 3 万 6 千。海外のクラブと交流し姉妹クラブの締結を推奨しています。

国際奉仕の活動で世界の環境の役に立つ事業であればグローバル補助金が申請できるという話でした。

国際大会は 2024 年 5 月 25 日、シンガポールで開催から開催、日台親善会議は 10 月 20 日、台湾で開催されます。奮ってご参加下さい。

青少年奉仕部門 神保 宏充会員

青少年奉仕部門では、①ローターアクト、②インターアクト、③RYLA、④学友フェローズ、⑤青少年交換委員会の各委員会から、それぞれの活動内容についてご紹介がありました。その中でインターアクト委員

会からのご説明が特に参考になりましたので、ご紹介いたします。

インターアクトは、12歳から18歳までの青少年または高校生のための社会奉仕クラブです。第2580地区では現在11のインターアクトがあるということでしたが、その多くは私立学校等の関係者からなるクラブであり、公立学校では活動が根付かないという問題があるということでした。インターアクトクラブを普及させるポイントのひとつは、いかにして教育機関の方にインターアクトクラブの存在を知ってもらい、その活動にご賛同いただけるかという点にあるということでした。そのためには、教育機関の理事長など教育関係者などにも幅広く声をかけて、ロータリークラブに参加していただくことが必要であるとのことでした。

次年度では、今回の地区研修協議会で学んだことを生かして、青少年奉仕活動に取り組んで参りたいと思います。

ロータリー財団部門 渡辺 和久会員

青木委員長の代理で出席してきました。大きく2つあり、ロータリー財団とは何かの話が8割ぐらいありました。

財団テキストを基に卓話の時間に委員長が話をして下さいとのこと。次年度牛島会長と相談してどこかで勉強会を行いたいと思います。

2021-22年度寄付実績一覧が配布されました。少ないクラブからのランキングで当クラブは35番目です。目標の一人280ドルを達成し、一人平均332ドルです。過不足なく適切な寄付ができていると思いました。来年度の地区目標は一人230ドルです。

西村 美智子次年度地区副幹事

私の地区副幹事の担当はクラブ運営支援と公共イメージデジタル化推進です。本来であれば会長、幹事部門で地区より報告されるべき件の報告です。栃木年度はロータリー賞というクラブのアワードがあります。国際ロータリーで設けた25の項目の中から13項目を会長が選び、且つ、クラブ内で共有し、どれぐらい達成できたのかを見える形で申請します。最後はアワードの発表会でビデオを流すので普段から保存しておく必要があります。クラブが一丸になってアワードを取りに行ければと思います。

司会進行 藤本 豊次年度幹事

本日の報告は以上とさせていただきます。皆様ありがとうございました。次年度委員長の皆様にはメールにて事業計画作成のお願いをしております。参考資料として、決議23-34と標準ロータリークラブ定款をお送りしました。ロータリーの目的や五大奉仕の目的が書いてありますので参考にして頂ければと思います。